

しかあざほうねんさい 四カ字豊年祭

いしがき
【沖縄県石垣市】



八重山の各島々では、旧暦の6月、今年の豊作に感謝し、来夏世（クナツユー）の五穀豊穡を祈願する豊年祭が開催されます。

石垣島の新川、登野城、石垣、大川地域が合同で行う四カ字豊年祭は、石垣島で行われる豊年祭の中で最大規模であり、夏の風物詩です。

1日目（オンプール）には、今年の収穫に感謝する儀礼が各地域の御嶽で行われ、2日目（ムラプール）は、新川にある真乙姥嶽（マイツバオン）で各団体の旗頭が奉納されるほか、太鼓や巻踊り、綱引きやツナヌミンなど様々な奉納芸能が賑やかに行われます。

開催場所	真乙姥御嶽まえ（石垣市字新川）
開催時期	毎年7月下旬～8月上旬
アクセス	石垣空港からリムジンバスで約30分、徒歩約15分 石垣空港から約15km、車で約20分
問い合わせ	石垣市農政経済課 ☎ 0980-82-1307

周辺情報

石垣島は美しいサンゴ礁とエメラルドグリーンの海に囲まれた美しい島です。石垣島で最も美しい場所といわれる川平湾は、島の西北端に面しており、グラスボートに乗って、海の中のサンゴ礁を観察することができます。また、川平公園の展望台から望む川平湾の風景も格別です。



秋は実り、収穫の季節です。今年も無事に収穫できたことを神に感謝し、各地の農村では秋祭りが行われます。

代表的なお祭り

新嘗祭（にいなめさい）

新穀を神々に供え、その年の収穫に感謝する宮中祭祀の一つです。11月に各地の神社でも収穫祭として行われます。

秋祭り

収穫に感謝して秋に開催される祭りの総称です。農村では田の神に感謝し、山へと送り出す祭りも行われます。

青沼どぶろく祭り（茨城県行方市）	29
表児の米（福井県坂井市）	30
大矢田ひんここ祭（岐阜県美濃市）	31
どぶろく祭（岐阜県白川村）	32
勝手神社の神事踊（三重県伊賀市）	33
上神谷のこおどり（大阪府堺市）	34
ススキ提灯献灯行事（奈良県御所市）	35
上淀の八朔綱引き（鳥取県米子市）	36
ひょうげ祭り（香川県高松市）	37
おしろい祭り（福岡県朝倉市）	38
抜穂祭（佐賀県鹿島市）	39
節祭（沖縄県竹富町／西表島）	40

あおぬま まつ
青沼どぶろく祭り

なめがた
【茨城県行方市】



アクセス

JR鹿島線「潮来駅」から車で30分
東関東道「潮来IC」から約30分

問い合わせ

行方市商工観光課
☎ 0291-35-2111

行方市の青沼春日神社では、11月23日の例祭として「どぶろく祭り」が行われています。

約1200年前の平安時代初期に、奈良の春日神社から分祀した際に「どぶろく」を造って五穀豊穡を祈願したことが起源とされており、現在も4つの地区が順番に当番となり新米を使ってどぶろくを仕込みます。できあがったどぶろくは、祭り当日に、神前に供えて神事を行った後、参拝客にふるまわれます。

青沼春日神社は、酒類免許を取得している全国的にも珍しい神社です。

開催場所 青沼春日神社（行方市青沼492-1）

開催時期 毎年11月23日

周辺情報

行方市は日本有数のサツマイモの産地です。「なめがたファーマーズビレッジ」は、廃校の校舎を利用してつくられた「見る」「食べる」「育てる」体験型農業テーマパークです。サツマイモをメインにした「やきいもミュージアム」や「なめがたおいもファクトリー」、地元の野菜や特産品などが並ぶオシャレな商業施設があります。

ひょうこ こめ 表児の米

さかい
【福井県坂井市】



表児の米は、北横地地区に古くから伝わる神事で、この地を流れる十郷用水の恩恵を受け、五穀豊穡に感謝するお祭りです。

神社でお祓いを受けて身を清めた若い衆数十人が、肩を組み合わせ、よいとこせ、よいやなと歌いながら、飛び上がり床を踏み鳴らす「おたしより」や臼（うす）の廻りに円陣を組み、「今かつ米は百姓の涙米・・・」と歌に合わせて杵で米を搗く「こめかち」を行います。ついた米は、たらいで米とぎしたのちせいろで蒸して、神前にお供えします。また、丸いもちにして神社の参拝者に分け与えます。

表児の米のモチは、家内安全、五穀豊穡、無病息災にご利益があるといわれています。

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 開催場所 | 布久漏神社及び表児の米研修会館（坂井市丸岡町北横地14-29） |
| 開催時期 | 毎年9月14日以降の最初の土曜日（敬老の日の前々日） |
| アクセス | JR北陸本線「春江駅」から徒歩20分
北陸道「丸岡IC」より約5分 |
| 問い合わせ | 坂井市教育委員会文化課 ☎ 0776-50-3164 |

周辺情報

丸岡町は丸岡城の城下町として栄えた町です。丸岡城は小高い丘陵に築造された平山城で、江戸時代寛永期の建造とされる天守は国の重要文化財となっています。

丸岡町内にある越前竹人形の里では、竹人形の製作体験もでき、地元の農産物を使ったそば、味噌、油揚げなどのお土産品も揃っています。

お や だ まつり

大矢田ひんここ祭

み の
【岐阜県美濃市】



大矢田ひんここ祭は、美濃市の大矢田神社で500年ほど前から行われている五穀豊穡を祈願する素朴な人形劇で、大矢田神社の祭礼日と紅葉期間中に演じられています。

ひんここ祭は、農民が麦蒔きをしているところへ大蛇が現れ農民に次々に襲いかかって飲み倒し、そこへ須佐之男命（すさのおのみこと）が現れて大蛇を退治するという物語を演じるもので、お囃しが「ヒンココ、チャイココ、チャイチャイ、ホーイ」と聞こえるところからこの名前がついたといわれています。

平成11年に国選択無形民俗文化財になりました。

- | | |
|-------|--|
| 開催場所 | 大矢田神社（美濃市大矢田2596） |
| 開催時期 | 毎年10月第3土曜日の翌日曜日
11月第4日曜日（ひんここ祭の一部「ひんここの舞」の披露） |
| アクセス | JR岐阜駅から岐阜バス高美線「大矢田神社前」下車、徒歩30分
東海北陸道「美濃IC」から、県道94号経由で約10分 |
| 問い合わせ | 美濃市美濃和紙推進課 ☎ 0575-33-1122 |

【写真提供：美濃市役所】

大矢田神社本殿への登り口の石段から社殿東側一帯の楓谷（かえでだに）に至るまでの間に約3000本のヤマモミジ樹林があり「大矢田もみじ谷」と呼ばれています。ヤマモミジの自然樹林として国の天然記念物に指定されており、もみじの名所として毎年多くの観光客で賑わいます。

まつり どぶろく祭

しらかわむら
【岐阜県白川村】



白川郷では毎年、10月14日から19日にかけて、五穀豊穡・家内安全・里の平和を山の神様に祈願する「どぶろく祭」が盛大に行われます。

白川村の3つの神社で、御神幸、獅子舞、民謡や舞踊などの神事が繰り広げられる歴史と伝統ある白川郷ならではの祭りです。

その名のとおり、祭礼に神酒として「どぶろく」が用いられ、集まった人々にも振る舞われるのが最大の特徴です。

開催場所 白川八幡宮、鳩谷八幡神社、飯島八幡神社

開催時期 毎年10月14日～19日

アクセス 白川郷へは、愛知県名古屋市、岐阜県岐阜市、高山市、富山県富山市、高岡市、石川県金沢市からのバスが運行しています。

問い合わせ 白川村役場 ☎ 05769-6-1311

【写真提供：白川村役場】

周辺情報

世界遺産に登録されている白川郷には合掌造りの建物が建ち並んでいます。その造りは、養蚕を行う屋根裏のスペースが確保できるためといわれています。

冬には多く雪が降りますが、合掌造りの屋根は、水はけがよく、雪下ろしのしやすい構造になっています。今でも20～30年に一度、屋根の葺き替えを行っています。

かつてじんじゃ しんじおどり 勝手神社の神事踊

いが
【三重県伊賀市】



三重県を代表する民族芸能に、羯鼓（かっこ・かんこ）と呼ばれる太鼓を胸につけて踊る神事踊「かんこ踊り」があります。

江戸時代中期から田楽形式の羯鼓太鼓を肩からかけた豊年踊りとして行われており、悪疫退散、雨乞いなどの祈りを捧げていました。

色とりどりの花をつけて垂らしたオチズイと呼ばれる飾りを背負い、胸につけた羯鼓を打ちながらゆっくりとしたテンポの囃子に合わせて踊る姿は優美です。

2018年3月に国の重要無形文化財に指定されました。

開催場所 勝手神社（伊賀市山畑482）
開催時期 毎年10月第2日曜日
アクセス JR関西本線「新堂駅」から車で約15分
名阪国道「壬生野IC」から車で10分
問い合わせ 壬生野地区市民センター ☎ 0595-45-8900（平日のみ）

【写真提供：伊賀市役所】

伊賀は、伊賀流で知られる忍者の里です。伊賀流忍術はこの地で発展し、伊賀流忍者は日本全国で活躍しました。

街の中央には上野城の敷地を使った上野公園があり、伊賀流忍者博物館、上野城等主要な観光スポットが集まっています。

にわだに 上神谷のこおどり

さかい
【大阪府堺市】



大阪府堺市の櫻井神社では、毎年10月5日に近い日曜日に「上神谷のこおどり」が演じられています。この踊りは、鉢ヶ峯寺の氏神・國神社の旧暦8月27日の祭りに若衆によって演じられていたもので、國神社が、明治43年（1910年）に片蔵の櫻井神社に合祀されてからは櫻井神社の秋祭りで演じられています。

鬼が数十本の紙花（ヒメコ）を挿して背負った竹籠や、ここで歌われる踊り歌などに、室町時代の風流踊りの影響がうかがえます。かつて和泉地方に多く見られた雨乞い、雨礼踊りとして行われたものですが、秋祭りの芸能としても行われていたようです。

開催場所	櫻井神社（堺市南区片蔵645）
開催時期	毎年10月5日に近い日曜日
アクセス	泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」2番のりばからバス、 「桜井神社前」または「片蔵」下車 阪和道「堺IC」より約10分
問い合わせ	櫻井神社 ☎ 072-297-0043

周辺情報

堺市南区の南部には農地や丘陵地が広がっています。体験型農業公園「堺・緑のミュージアムハーベストの丘」は、春には菜の花、秋にはコスモスの花畑が広がり、羊やカピバラなどの動物とも触れあえる広場や様々な体験ができる教室があり、ソーセージや乳製品などのオリジナル商品も販売しています。

ちょうちんけんとうぎょうじ ススキ提灯献灯行事

ご せ
【奈良県御所市】



奈良県御所市の鴨都波神社（かもつばじんじゃ）では、毎年7月16日（夏季大祭）と体育の日の前々日（秋季大祭）に、「ススキ提灯献灯行事」として、氏子の各自治会が五穀豊穡を祈願し、各自治会独自のすすき提灯を神社へ奉納しています。

祭りは、約30基のススキ提灯が葛城公園に集まり、鴨都波神社まで巡行します。境内では自治会ごとにススキ提灯を練ったあと参拝し、最後には、鴨の宮若衆会によるススキ提灯の練り回しが行われます。

開催場所 鴨都波神社（御所市宮前町514番地）

開催時期 毎年7月16日と体育の日の前々日

アクセス 近鉄御所線「近鉄御所駅」、JR和歌山線「御所駅」より徒歩約5分
南阪奈道「葛城IC」から～県道30号線～御所市（15分）
京奈和道「御所IC」～御所市（10分）

問い合わせ 御所市観光協会 ☎ 0745-62-3346

周辺情報

御所市は、奈良盆地の西南端に位置し、西には金剛山、葛城山がそびえ立ちます。葛城山は、夏のツツジ、秋のススキなど四季折々の美しい景色をつくりだします。

特に、『御所まち』は、江戸時代初期に形成された陣屋町です。伝統的な建物がたくさん並ぶ風情あるまちをぜひご覧ください。